

発行日 平成13年3月31日
発行者 江別市生涯学習推進協議会
編集人 広報小委員会(山岸 肇)
連絡先 江別市教育委員会生涯学習担当
(高砂町24・381-1062)

二百四十八名のエネルギーを享受しよう！ 「市民が歌う 第九演奏会」

三月三十一日の発表を前に、練習も最後の追い込みに来ている。先日コミュニケーションセンターホールでの練習を取りました。

この日は、指揮者の円光寺雅彦さんの指導での練習。2時間立ちっぱなしの発声にも熱が入ります。第九演奏会は「香り高く元



指揮者の円光寺雅彦氏

気な江別」の創造と新しい地域文化を広めようと市民が十カ月余の練習を重ね、つくりあげます。
同じ「えべつ」のまちに住む仲間たち、初めての出会いもあつたことでしょう。
21世紀の幕開けにふさわしい演奏会にしたいと、練習もパート別練習十二回、全体練習二十回をそれぞれがこな

し、当日は円光寺さんの指揮する札幌と本番に臨みます。地域社会の形骸化が問われるなか、一つの目的に向かい協同で新たな価値の創造をめざす二百四十八名の仲間たち。
凍える三月のまちに、第九の熱い歌声が解けていきます。

- ▼日時—3月31日(土)
- ▼開場—15時30分から
- ▼開演—16時00分から
- ▼会場—市民会館大ホール
- ▼入場料—二千五百円
- ▼販売—市民会館、各公民館
- ▼詳細—市教委文化課
- ▼電話—381・1060



熱気がムンムン…第九の練習風景

二月二十四日(土)から三回の予定で、男性のための料理教室が、中央公民館で始まりました。
日本人の食生活は「米と味噌汁と魚」型から「パンとミルクと肉」型へとおおきく変わり、日本の風土・気候に培われたお米を中心とした伝統的な食生活は少なくなりまし

はじまりました

男のキッチン



なるほど…感動の連続です。

「今は、食べることが日常生活の中であまりにも簡単にすまされていますが、食べることは私たちが生きていく上で、何よりも大切なことです。」との講師の言葉のあと、参加者は献立の親子丼、すまし汁、野菜の炒め物に挑戦。でも現実には厳しいもので普段から台所に立ち、料理を作っている人か、食べる人かはこの場の様子に現れます。
「鶏肉の削ぎ切り、たまねぎはたてに薄く、ねぎの小口切り、大きじ一杯、カップ一杯」など料理用語も盛り沢山。思うようにはなりません。それでも2時間で何とか出



主婦から主夫へ…21世紀は役割分担？

来上がりました。二千二十五年には、四人に一人が65歳以上の老人となる高齢化社会。当然社会の役割も変わります。
自分のことは自分で「自立」が求められます。

寄稿

日々楽しむ私の生涯学習

楽しみながら ボランティアを



山岸 肇さん

二十年前、私はインドネシアで約一年間仕事をしました。仕事の内容は建築現場でオペレータ、メカニックの指導だった。初めは現地の人達の考え方、行動が理解できなく、戸惑いがあった。彼らは日本人の半分くらいしか働かず、のんびりと、仕事はどうでも良いと思っているのではないかと考えた。

「郷に入っては郷に従え」で自分の考え方、行動を変えた。歩く時はゆつくりと、仕事が進まなくても仕方が無い、そう思う事により彼らの中に溶け込んでいく事が出来た。
高温、多湿の東南アジアではどこも似ている。人の目を気にしないで貧しくて

ものんびりと、着るものも多くはいらない、何とか食べる事が出来れば生きていける。そんな東南アジアが好きになり帰国後、国際関係のNGOボランティアを続けている。

毎年東南アジアの国を訪問し、地元の小学生と一緒に植林をし、国の要人を表敬訪問している。また、江別市内の国際関係の団体にも入っている。また、江別市内の国際関係の団体にも入っている。また、江別市内の国際関係の団体にも入っている。また、江別市内の国際関係の団体にも入っている。

(江別市民国際交流協会)

今、思うこと

「生涯学習」という言葉が聞かれるようになって、かなり経ちますが、つくづく思います。人生経験の豊富な人達が今なお謙虚な気持ちで学習しているのは、すばらしい事だと。そして、学生時代に、



石山 昇さん

まじめに講義に出席してれば良かったとも。

振り返りますと、私の学生時代は、サークル活動中心で講義は出席をとるものだけ出ていました。そして、テストの前だけ学習する。(友だちのノートを借りてコピーするだけですが)大学のコピー機には長蛇の列が…

今では地下鉄が止まる日大に入学するために一生懸命勉強していた頃と、入学後の自分は、学習する意欲が完全に無くなっていました。

こんな状態ですから、単位もまともに取れず、四年の時には、8科目も残していました。(二年間で十一科目しか履修できません)ですから、四年生の一年間は死にもの狂いで講義に出席して、なんとか四年間で卒業したので。最近ふと思う事があるので「勉強したいな」と。私

を使っていないと、そういう欲求が生まれるのかもしれない。そんな「生涯学習」という制度は自分の興味のある事などを選択してできる訳ですから、ストレス発散、能の刺激ができて、少子高齢化社会の中でとても重要な役割を果たすのではないのでしょうか。私達も協力していきたいと考えています。

(江別青年会議所)

趣味の ボランティア

半年前まで駅などで見かける点字も、ちんぷんかんぷんだった私が、今では点訳ボランティアをなんとかやっている。この変身ぶりには自分でも驚いています。普通、私が今お世話になっている「ろく



木下 幸子さん



攻専学園楽聚
より(俳画)講座

の会」には二年間、点字を勉強してから入会するそうなのですが、私の場合、時期が合わないという事と、卒業まで一年半しかない時間制限もあって、いきなり平成12年10月「ろくの会」に入れて頂ける事になりました。入会する少し前に点字を教えて頂いている、なんとか五十音は書ける

状態だったのですが、「分かち書き」といって、読む方にわかりやすくする為に区切りを入れて書く方法が、かなりの難関なのです。でも、「ろくの会」では頼もしいベテランの方が沢山いらっしゃるの、わからない所を教えて頂いているうちに、少しずつですが、分かち書きも出来るようになってきました。

ボランティア以外にも、点字で友達と手紙のやりとりをしています。普段、点訳をする側ですから、どうしても読むのは苦手で、手紙を読むのがいい勉強になっています。暗号を解読するようで楽しいですよ。今の目標は分かち書きを完璧にすることです。が、これは何十年単位の目標になります。

(点字ろくの会)



学ぶ仲間を募集します！

水墨画同好会「あじさい」

水墨画は、墨、筆、硯、紙によって生まれた東洋の絵画で、筆の走りは正直に人の心を語り、その折々の心のありかたが、如実にあらわれるものです。

従って、同じ題材をいくらか描いても全く同じものはかけません。それだけに水墨画に夢中にさせる魅力があるのかもしれません。

私達同好会「あじさい」の会員は六十歳以上の方が半数以上で、生涯学習の一環として、月二回野幌公民館において、水墨画を和気あいあい楽しく学んでおり、このことに

より心の憩い、生きることの活力をみいだしております。いままで、会員多数のため、

会員募集はしておりませんが、このたび、欠員が出ましたので、若干名、会員を募ることにいたしました。水墨画を志す方、会員一同心から歓迎いたしますのでご応募ください。

(川村記)

学習日 毎月第二・第四金曜日午後2時30分～4時30分

野幌公民館
申込締切 三月三十一日
申し込み先

TEL 383・5097 川村
TEL 384・6916 吉田



水墨画の学習風景



他教室との交流演奏会

大正琴リズムの会

月二回第一・第三木曜日午後一時～三時迄野幌公民館にてレッスンをしています。

大正琴は、ポピュラー・民謡・演歌・童謡等ジャンルを問わず手軽に弾くことが出来、会員相互の和を大切に楽しんでおります。

この楽しみを自分達だけのものにせず、大正琴との音色を多くの人々に楽しく親しく頂くため各種イベント・施設訪問等にて演奏をしています

のですが、会員が少なく細かい事があります。楽譜はわかりやすい数字譜ですので難しくありません。ご一諸にレッスン・演奏を楽しんでみませんか。

毎月第一・第三木曜日午後三時～四時迄入会希望の方は体験講習会を行っています。貸琴(無料)用意しております。見学は自由です。いつでもおこしください。

連絡先 岩佐
電話 383・7121

中国語講座(初級)

新規受講生を募集します！

中国語を学んでみませんか？
初めて中国語を学ぶ人大歓迎！
少しかじったことのある方も、この際再開してみませんか？
中国映画、中国ポップスなど中国の文化に興味がある人、中国旅行を考えている人はいませんか？
中国語を学べば、楽しさ倍増！

日	時	毎週火曜日(4月より) 午後6時30分～8時まで
場	所	江別市国際交流センター (野幌駅南口より徒歩3分)
講	師	朱 琦(シュキ)先生
受	講	対象者 老若男女を問わない
受	講	料 月額(3千5百円)
主	催	江別日中友好の会
連	絡	池畑 電話 011-382-7808

えべつぼけ老人を支える会

(かけはしの会)

「えべつぼけ老人を支える会」では、ぼけさんを抱える家族の方が一人で悩まないために介護体験者、介護中の相談員による電話での相談のほか、家族の集い、施設見学、講演会、広報「かけはし」の発行などの事業を行っております。

会では、ぼけさんを家族だけでなく社会全体で支える地域づくりと、福祉の増進を目指しておりますが、いま活動を支える会員の方(賛助会員・会費千円)を募集しております。

最近徘徊と思われる行動がみられ心配だ。
持ち物やお金が無くなったと家族を困らせる。
同じ悩みを抱えている方と話したい。
などいつでも面談・電話での相談をしております。

えべつぼけ老人を支える会
大麻沢町5-6
TEL 387・5657



ぼけ防止に笑いが一番と...

区案内

市内学習ポイント



江別市子育て支援センター「すくすく」

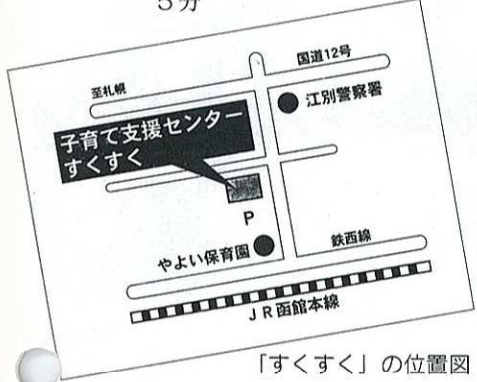
江別市子育て支援センター「すくすく」がオープンしたのを、ご存知ですか？

泣く子、笑う子、喧嘩をする子、館内に子どもたちの歓声が響きます。ここは就学前の、子どもと保護者が対象です。少子化の影響で、子ども同志のかかわりが少なくなってきました。

施設で異年齢のふれあい、親子のふれあい、子育ての楽しみを実感しませんか？

「すくすく」ではこの他にも講演会・子育て情報の提供、育児相談なども行っております。

開館時—8時45分～17時15分まで
閉館時—土・日・祝日、12/29～1/3
交通機関—JR高砂駅より徒歩約10分
JRバス江別5丁目下車徒歩5分



「すくすく」の位置図

お願い

「すくすく」は、学生から60歳代の17名のボランティアの活動で支えられています。

遊びや、仲間づくりの援助、託児の支援、おもちゃの準備、子育ての経験など、あなたの“愛”を募集しています。ご連絡ください。

〒067-0073 弥生町18-5
TEL・FAX381-1920

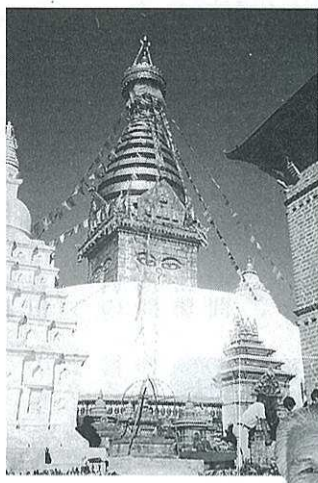
「すくすく」で遊ぶ幼児のまなざし、第九で新たな芸術の創造を目指す人々、ボケさんを支えようと学習する人たち、そこには一人一人が自分を生かし、他人を愛することに喜びを感じ、笑顔がありました。今までも、そしてこれからも、このような市井での活動や、生活の営みが、まちを支える力となるでしょう。

私の宝物
旅が宝

桑原 高雄

私には放浪癖があるようです。若い頃より暇ができると、手元のお金を懐にブラリと旅に出かけ、定年までには日本をほぼ一周りし、日本の美しいもの、美味しいものを堪能してきました。

そして、退職後は海外放浪の旅が始まりました。ペナレスのガンジス河畔に設けられた石造りの火葬台に、沙羅双樹の薪を積んで死者を載せ、火を放ち焼却すると後は聖なる川に投げ込まれて完了する人間の最期。



人間の性に恐れ戦く。立とうとしても立てず、宇宙遊泳をしている気分になる死海の不思議。最高峰海拔一メートルのモルデイブに、地球温暖化の心配。etc……。

がこんなにも爽やかに美しく無に気することへの深い感動。百歳以上の長寿が暮らす山深い桃源郷ファンザで触れた、自然と人間が一体化した温かい営み、それに対して大量の人間が虐殺されたアウシュビッツに、鬼にもなれる非情な人間の姿を発見。

この宝物はと聞かれれば、旅で得た心に沁みる光景であり、数々の旅行記でしようか……。

(元町在住)

皆で育てよう えべつの子

「子育てサポート養成講座」

子どもたちを地域で支援しようとして「子育てサポート養成講座」が市教委の主催で開催されました。

前半は子どもたちを取り巻く現状と家庭教育の基本的あり方を、北海道浅井学園大学教授谷川幸雄さんが講義。



後半は「遊びで育てる心」とからだ」というテーマで第二大麻幼稚園々長安藤陽子さんの実技を交えた講義。



人形で実技指導する安藤先生

編集後記

今回の取材で多くの人の出会いがありました。地球の中の点にしか見えない江別のまちに、人々が自分の個性を伸ばし、生き生きと輝いている姿を見ることが出来ました。